

医療事故情報収集等事業 第60回報告書のご案内

1. 集計報告（対象：2019年10月～12月）

(1) 医療事故情報収集・分析・提供事業

表1 報告件数及び報告医療機関数

	2019年			合計
	10月	11月	12月	
報告義務対象医療機関による報告件数	362	278	426	1,066
参加登録申請医療機関による報告件数	57	24	46	127
報告義務対象医療機関数	274	274	274	—
参加登録申請医療機関数	810	811	812	—

(第60回報告書 16頁参照)

表2 事故の概要

事故の概要	2019年10月～12月	
	件数	%
薬剤	83	7.8
輸血	2	0.2
治療・処置	301	28.2
医療機器等	32	3.0
ドレーン・チューブ	69	6.5
検査	68	6.4
療養上の世話	354	33.2
その他	157	14.7
合計	1,066	100.0

(第60回報告書 17頁参照)

(2) ヒヤリ・ハット事例収集・分析・提供事業

1) 参加医療機関数 1,250 (事例情報報告参加医療機関数 659施設を含む)

2) 報告件数 (第60回報告書 20頁参照)

①発生件数情報報告件数：238,286件

②事例情報報告件数：7,886件

2. 事例の分析

今回、「分析テーマ」で取り上げたテーマは下記の通りです。

- (1) 持参薬の処方・指示の誤りに関する事例 【24～43頁参照】
- (2) 食事・経管栄養とインスリン投与に関連した事例 【44～55頁参照】
- (3) 透析療法時に用いる内シャントが閉塞した事例 【56～68頁参照】

3. 再発・類似事例の分析

これまでに、「分析テーマ」や「医療安全情報」として取り上げた内容の中から再発・類似事例が報告されたテーマを取りまとめています。今回取り上げた再発・類似事例の分析のテーマは下記の通りです。

- (1) 入浴介助時の熱傷 (医療安全情報 No. 5) — 新生児・乳児 — 【71～77頁参照】
- (2) はさみによるカテーテル・チューブの誤った切断 (医療安全情報 No. 90) 【78～85頁参照】

*詳細につきましては、本事業ホームページ (<http://www.med-safe.jp/>) をご覧ください。